特定非営利活動法人地球年代学ネットワーク

第13回社員総会　議事録

1. 日時　2026年6月21日（日）　9：30〜10：00
2. 場所　事務局会議室（岡山市中区中島2-5）
3. 開催形式　対面およびZoomを利用したオンライン形式

4. 会員総数及び出席者数　総数51人　出席者39人（うち書面表決者数21人）

定刻に至り，司会者本庄慶樹事務局長より，本総会の次第および事務局からのお知らせを述べた後，定款第27条の総会成立に必要な定足数を超える会員の出席があったことが報告された．

5. 議長選任の件

定款第26条に基づき板谷徹丸理事長を議長に選出された．

6. 理事長の挨拶の後，議長として開会が宣言された．

7. 審議事項
   (1) 第1号議案　議事録署名人の選任の件
   (2) 第2号議案　第12期（2025年度）事業報告の件
   (3) 第3号議案　第13期（2026年度）事業計画の件

8. 議事の経過の概要及び議決の結果

(1) 第1号議案　議事録署名人の選任の件

議長により，次の者を議事録署名人に選任したいとの提案があり，賛成者の挙手を求めたところ，挙手多数で承認された．

議事録署名人　竹下 浩征
議事録署名人　八木 公史

(2) 第2号議案　第12期（2025年度）事業報告の件

第12期（2025年度）に実施した活動について，議長に指名された竹下浩征理事から実施された活動は「国際交流と協力の推進事業」を除く，「若手研究者の育成と雇用創出事業」，「測定手法と装置の研究開発事業」，「調査・分析データの提供事業」及び「知見及び技術的有用性の普及啓発事業」の4事業であったことが報告された．ついで竹下浩征理事から第12期（2025年度）の活動計算書に基づいた決算報告が行われた．次に議長から指名された野田慎一郎監事によって監査報告書が提示され，事業報告はいずれも正確且つ適正であった事が述べられた．本議案について議長は異議のないことを確認するために挙手を求めたところ，挙手多数で承認された．

(3) 第3号議案　第13期（2026年度）事業計画の件

議長に指名された竹下浩征理事から第13期（2026年度）に計画している継続事業並びに新規事業と事業全体の予算が下記の通り示された．本議案について議長が審議に諮ったところ，原案通りに満場一致で承認された．

継続事業：地球史研究所を活用した岩石試料アーカイブ，地球史研究所整備計画（ジオトピア活動），ドローンを利用した調査手法の確立と実証実験，地球史研究所への質量分析計の設置，赤磐市地質資源活用事業（あかいわジオシティ講座・ＰＲ動画制作・広報あかいわ「ジオコラム」連載）．

新規事業：鳴門海峡のジオパーク構想可能性調査業務，大学院生のインターンシップ受け入れ（見込み）

事業計画の収益の見込み：4,000千円

事業計画の支出の見込み：3,650千円

以上で議決事項の審議を終了したことを，議長が宣言した．

9.　理事からの報告事項

引き続き，司会者本庄慶樹事務局長は，理事からの報告事項として，第13期（2026年度）の理事による研究および事業計画が示された．全ての理事から具体的な内容が報告された後，それらに対する質問あるいは助言を議場に問うたところ，藤野光裕会員から，地球史研究所への質量分析計の設置のタイムスケジュールを知りたいとの質問があり，八木公史理事から本年度末を想定しているとの回答があった．また，此松昌彦会員からドローンを利用した地球史研究所での収益事業の実施は可能かとの質問があり，竹下浩征理事から，すでにその試行を行なっているが人手が足りないので，事業化のためには会員の協力が必要であることが述べられた．

司会者本庄慶樹事務局長は報告事項の終了を告げるとともに，参加者全員へお礼を述べ，閉会を宣言した．

この議事録が正確であることを証します．

2026年6月21日

特定非営利活動法人地球年代学ネットワーク　第13回社員総会

議　　長　　理事長　板谷　徹丸

議事録署名人　　竹下　浩征

議事録署名人　　八木　公史